



畑 幸一議員

- 進化する元気な町づくりの取組みについて
- 町民生活の充実と不安解消について
- 投票率の向上を図る取組みについて

**質問** まちの駅「かんかんてらす」の状況と北谷町との連携は。

全ての町民がライフステージに応じた、健やかで、心豊かに、生き生きと暮らせる町づくりの為、現施設機能の充実を図るとともに、各種施策の推進に努めて参ります。

**町長**

**質問** 「笑顔と健康」の町づくりプランについて伺う。

「笑顔と健康」の町づくりプランについて伺う。

**総務課長**

平成28年3月に「鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。4つの基本方針を掲げ、各種事業を計画しています。なお、今年度は「空き家対策調査事業」を実施し、当町にあつた事業を調査研究して参ります。

**町長**

**質問** 定住化促進の施策とは、何か。

定住化促進の施策とは、何か。



**一般質問** は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)

なお、今議会の登壇議員は2人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
7	畑 幸一	○ 進化する元気な町づくりの取組みについて ○ 町民生活の充実と不安解消について ○ 投票率の向上を図る取組みについて
8	菊地 洋	○ 「かんかんてらす」の運営状況について ○ 農業政策としての補助金制度と耕作放棄地対策について ○ 町長の政治姿勢について

### 議会傍聴へおいで下さい

次回の9月定例会は、町の昨年度の決算の審議を行う重要な議会となります。あなたの目や耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴の手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

# 議員が町政を問う

**質問** 2040年には、1人暮らしが40%になる見込みです。現在町社会福祉協議会で実施している、おでかけ支援ゆうあいバス運行事業への補助、生きがい活動支援事業等の委託、緊急通報システム事業を

高齢者世帯への支援策について伺う。

**町長**

根拠と改善を基本に、仕事にあたっていく考えです。

**質問**

行政改革として、もっと改善し、無駄のない行政を推進する方策はあるのか。

**町長**

オープンから3週間で、町内外から平均毎日240人の来館者があります。今後の取り組みは、商工会や観光協会、各種団体等一体となり、より親しまれる施設となるよう運営に努めます。さらに、北谷町とも交流して参ります。

**質問**

継続し、今年度は新たに徘徊高齢者捜索ネットワークシステムを構築して参ります。

**質問**

終活サービスの行政の課題について伺う。

**福祉子ども課長**

今後、超高齢化社会を迎える中で、孤独死も増えてきますので、行政として本人の終活にどれだけ寄り添えるのか、調査研究に努めて参ります。

**質問**

上下水道事業の浄水場建設の見通しと実行状況について伺う。

**上下水道課長**

給水開始から50年以上経過し、浄水施設や水源施設、水道管の多くは老朽化が進んでいます。新浄水場の整備計画、規模については、安全で快適な水の供給や災害時にも安定的な給水を行うための施設水準の向上等を考慮し計画しています。

**質問**

期日前投票の現状と課題について伺う。

**選挙管理委員会書記長**

平成29年10月の衆議院総選挙では、町が41.79%、福島県が39.26%、全国が40.49%と福島県と全国の平均を上回っています。20代、30代の投票率が悪いので、高等学校卒業後も継続して投票所に足を運んでもらうことが大きな課題となっております。

**選挙管理委員会書記長**

平成28年度の参議院議員選挙と平成29年度の衆議院議員総選挙を比較しますと、同種の前回選挙よりも、投票率は向上している状況です。特に大きな課題はありませんが、より効率的にできるよう検討して参ります。